

H21 年 9 月 12 日 (土)

玉野商高3年生 JR宇野駅に手作り掲示板

地元の楽しい情報発信

玉野商高3年生が、地元の観光名所やお薦めスポットについて情報を発信しようと、JR宇野駅に手作りの掲示板を設置した。生徒たちが実際に市内を回って集めた情報を観光客らに紹介する。「情報を更新し、新鮮な話題を提供していきたい」と意気込んでいる。(山本雅子)

名所や飲食店を紹介

若者の視点で 活性化へ意欲



掲示板は、高さ1・5m、幅60cmで、上部に「玉野商業グローバルニュース」と文字を入れた。グローバルとは、地元の楽しい情報を発信しようと英語の「Good」と「Local」を合わせた造り。

語だ。初回は、八浜町八浜の町並み保存拠点施設・藤原元太郎邸を紹介したものや、同施設を訪ねた際に立ち寄る飲食店を、目に留まりやすいデザインにして紹介している。文科省の「目指せスーパー専門高校」の取り組みの一環。生徒たちは2007年度から地元商店街やフェリー乗り場などで客にアンケートを行いニーズを把握したり、関東の大学生グループと一緒に地元の良さを引き出すアイデアの出し方などを学んできた。掲示板作りは、課題研究の授業で地域活性化を選択している3年生4人が行った。

玉野商高3年生が作ってJR宇野駅に設置した掲示板

濱本航大君(17)は「見やすく、ぱっと目を引くデザインになるよう工夫した」と言い、藤田未来さん(17)は「高校生の視点で玉野の良いところを発信し、初めて来た人に玉野を好きになってもらいたい」と話している。掲示板は1カ月に1回更新する予定。